除菌革命

付着菌も安全に除菌できる
濃度センサ管理機能付きプラズマオゾン発生装置

回転電極発生体の耐久性UP!!(発生体が汚れにくい)※特許取得

Ozone & Uv Technology
YSくりん
Control of sanitation

YSくりん　YS70-OZS(NT)

安全かつ効果のあるオゾン発生装置を作りました。
これからの世界標準です。

最強の除菌力
発生量 130mg/h MAX

オゾン濃度を自動制御だから安全

発生体の耐久性がバツグン

付着菌まで効果があるのはオゾンだけ。

「市販の空気清浄機の謳う除菌効果は、一義的にはそれらの機器が放出している特殊物質というより、それらが同時に放出しているオゾンによる殺菌効果で十分説明可能であること、が明らかになった。」

独立行政法人国立病院機構仙台医療センター臨床研究部ウイルスセンター
西村 秀一氏論文　「感染症学雑誌ホームページ」より抜粋

本当に安全ですか？

従来のオゾン機器による安全性の問題

オゾンは有人下では濃度を0.1ppm以下に制御する必要があります。

強力な脱臭･除菌力のあるオゾンは高濃度で長時間使用すると人体に悪影響を及ぼします。

濃度管理

安心してご利用いただくために

世界一安全な「オゾン濃度自動制御システム」

【オゾン濃度自動制御システム】・・選べる８パターンでオゾン濃度を自動制御します。

オゾン濃度管理例（デフォルト工場出荷時設定）

オゾン濃度が0.04ppmになるとオソン発生を自動で停止し、0.02ppmになると再発生します。

オゾン発生　　オゾン停止　　オゾン再発生

オゾン濃度
センサー
稼働表示 LED

※オゾン濃度の上限値設定は、有人使用時0.1ppm、無人使用時0.18ppmまで変更できます。
※オゾンは空気より重いため、お部屋の上方に設置して下さい。
※0.04ppmでもじっくり時間をかければ除菌は可能です。

こんな場所におすすめ

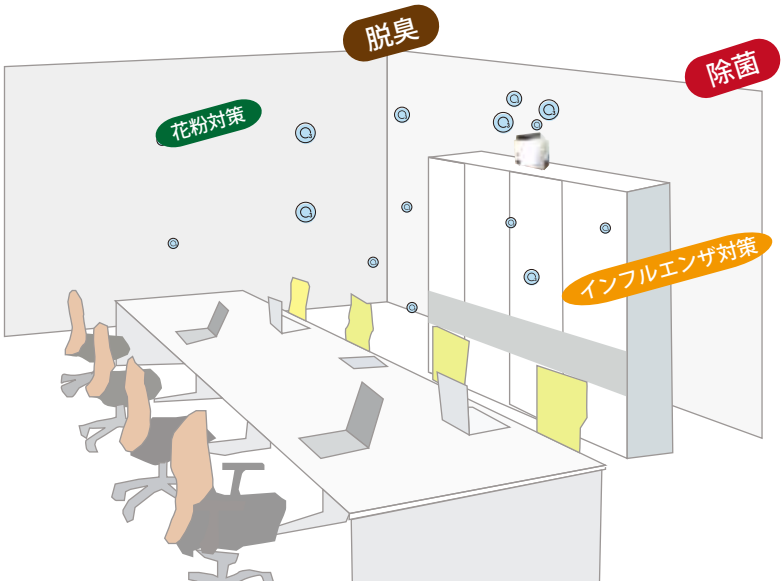
人のいるところでも大丈夫！！

幼稚園

病院待合室

オフィス

ごみ置き場



お考えですか？
新型インフルエンザ対策

オゾンガス0.1ppmを3時間(180分)以上
(ct値18)曝露する事により99.7%以上の
ウイルスの不活化を確認する事ができた。

ウイルス感染価の不活化率とCT値

不活化率	92.9%	99.0%	99.7%
オゾンガス濃度 (ppm)	0.1ppm	0.1ppm	0.1ppm
処理時間 (min)	60min	120min	180min
ct 値…※①	6	１２	１８

※①…CT値=作用時間(分)×オゾンガス濃度(ppm)

オゾンは発生し続けますか？

メンテナンスの問題

業界初

放電部に異物が付着（固着）せず・堆積しにくい

メンテナンスが楽！！

知っていましたか？

時間の経過とともに、オゾンを発生する心臓部の「オゾン発生体」には
いろいろな異物が付着・堆積してしまい、
1週間～1ヶ月で水洗いやメンテナンスをしてあげないと

「**オゾンを発生しなくなってしまう**」ことを。。。(>_<)

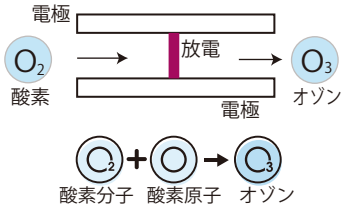
ＹＳくりん「ＹＳ７０-ＯＺＳ」は、**心臓部に移動回転方式発生体（特許）を採用**しているので

異物の付着・堆積がほとんど無く、放電部のメンテナンスは3～5年に一度行えば大丈夫。※１

※１　・使用環境が良い場合、発生体のメンテナンスは5年以上不要です。（放電部に汚れが溜まった場合には簡単にお掃除できます。）
　　・オゾン濃度センサー１年で交換が必要です。（お客様にて交換可能）

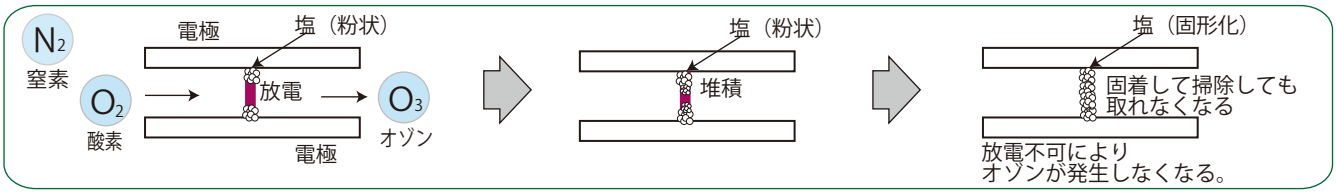
オゾンの出来る仕組み

オゾンを生成する主な方法に放電方式（固定）があります。酸素分子を放電エネルギーで
酸素原子に分解（乖離）させてオゾンを生成します。



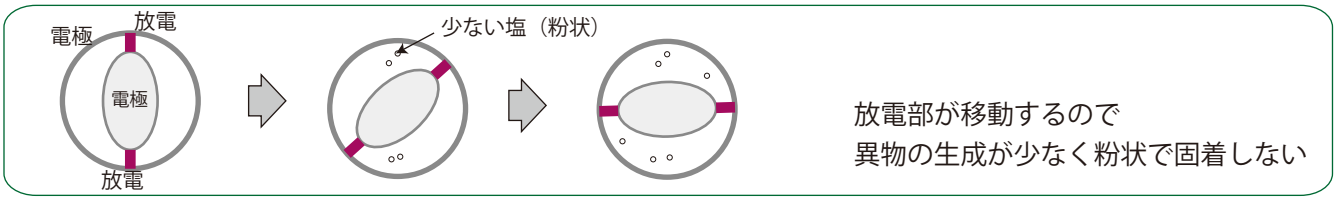
固定放電方式の発生体の問題点

放電でのオゾン生成で問題になるのは空気中に 78%含まれる
窒素です。オゾン生成時にこの窒素と湿気が反応して白い粉状の
異物（塩の一種）が少量ですが生成されてしまいます。
定期的にきちんとお掃除をしないとオゾンを発生しなく
なってしまうのです。また、長期のお掃除を怠ることにより固形化してしまい固着する
ことでお掃除してもきれいに取り除くことが出来なくなってしまいます。



回転放電方式の発生体を採用（特許取得）

弊社ではこの異物の生成を極力抑えることのできる回転放電方式の発生体を採用しています。

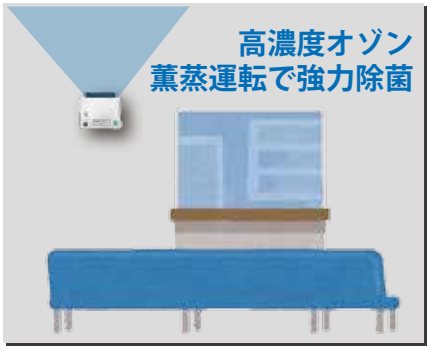


放電部が移動するので
異物の生成が少なく粉状で固着しない

タイマーで夜間など無人時に高濃度オゾンで強力除菌

有人時

無人時



タイマーで指定した時間
に強力オゾン薫蒸運転を
開始。指定した時間にな
るとオゾン濃度センサー
管理運転に自動で戻ります。

※指定した時間に機器を停止することもできます。
※薫蒸運転は必ず無人時で行なってください。
　有人時に薫蒸運転をすると健康を害する可能性があります。

オゾン除菌のメリットと現状

オゾンは強い除菌･脱臭分解力を有しています。除菌に関しては細菌の DNA を壊し分解するため、耐性菌を生みません。脱臭に関しても匂い成分そのものを分解します。酸素からできているため役目を終えれば酸素に戻り残留しないので無害で、食品の除菌にも使用されています。用途としては食品工場の浮遊菌の除菌などが多いです。またオゾンは濃度によってはその効果が強くなるため、通常は無人の夜間状態での使用が普通です。　※有人時の使用の場合は空間濃度は 0.1ppm 以下であることが望ましいです。

※有人の場合は一般的には使用空間内濃度は 8 時間 0.1ppm とされています。

YS70-OZS(NT)の濃度管理機能のメリット

本機は、オゾン濃度センサーを搭載することによりオゾンの発生を安全に制御（0.1ppm 以下※変更可能）します。有人時の場所でも 24 時間安心してご利用頂くために開発した製品です。
タイマー運転を ON にすれば指定した時間に無人時に強力オゾン薫蒸運転を自動で切り替えることができます。

各部の名称

YS70-OZS(NT)

YS70 シリーズラインナップ

YS70-OZS(N)

オゾン発生量調整が
強弱の 2 段階タイプ
50、80mg/h
小規模オフィスや
ご家庭での
使用に向いています。

YS70-OZS

オゾン発生量調整が
無段階で MAX130mg/h
30 畳以上のオフィスや
ゴミ置き場などでの
使用に向いています。

仕様

形式	YS70−OZS（NT）
定格電圧	AC100V
定格周波数	50/60Hz
消費電力	29W/26W
オゾン発生量	0、50、80、130mg/h 標準空気において（5℃、湿度 50%以下、1 気圧）
オゾン濃度制御運転	工場出荷時濃度閾値設定：ダイヤル“5”※1 有人時：6段階運転（ダイヤルの数字が小さいほど高濃度） 0.01～0.10ppm運転（ダイヤル7～2：出荷時5） 無人時：2段階　0.15～0.18ppm（ダイヤル1～0） 濃度センサ寿命警報あり（オゾン強制停止） ※1　上限信号（0.04ppm）感知後、オゾン停止。10 秒後にファン停止。下限信号（0.02ppm）を感知すると運転再開（オゾン発生）
薫蒸運転/機器停止	24hタイマー設定およびタイマースイッチ切替による
オゾン濃度切替	オゾン発生量切替スイッチによる ※薫蒸運転時は自動で 130mg/h
風量	0.54㎥/分（50Hz）／　0.80㎥/分（60Hz）
周囲温度・湿度	0～40℃、80%以下
外形寸法	W260 × H220（260※吹き出し部） × D120
有効除菌スペース	327 ㎥（冬 5℃）／200 ㎥（25℃）天井高 2.3m　※2
重量	4.5kg

※1　上限信号（0.04ppm）感知後、オゾン停止。10 秒後にファン停止。下限信号（0.02ppm）を感知すると運転再開（オゾン発生）
※2　有人時は 0.1ppm 以下にてゆっくり除菌脱臭を行なった場合の有効除菌脱臭スペース。
※　オゾン濃度センサー 1 年で交換が必要です。（お客様にて交換可能）
※　発生体に移動回転方式を採用。
※　選定の目安：30 畳未満の場合は YS70-OZS(N),30 畳以上の場合は YS70-OZS(NT)、YS70-OZS